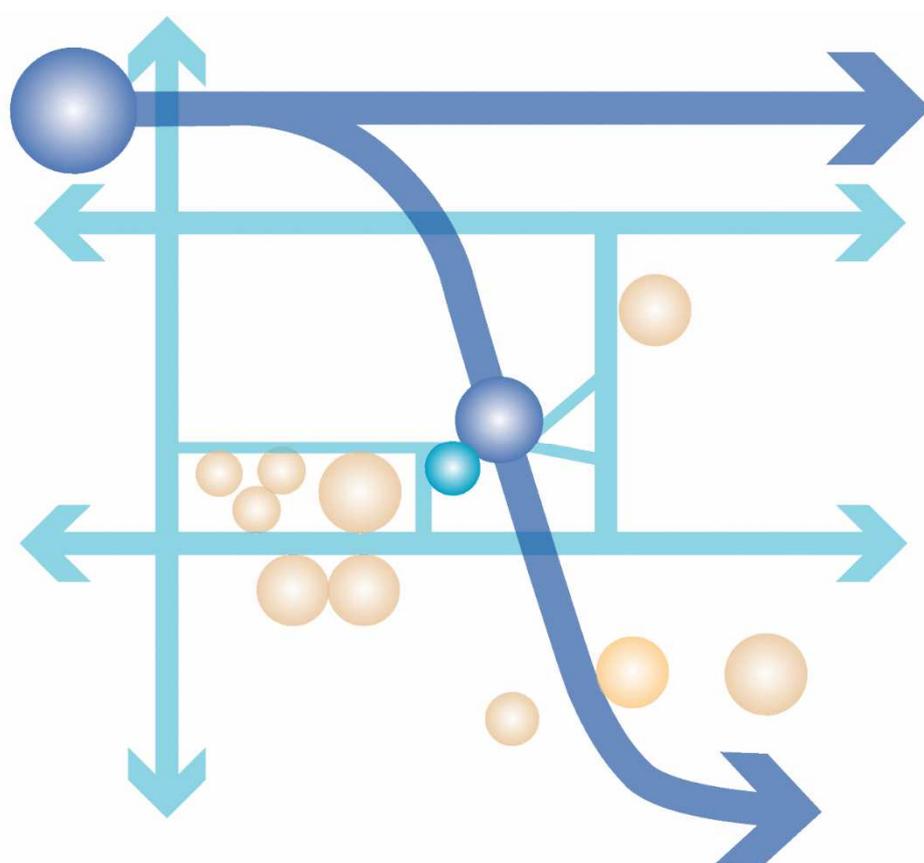


西国立駅周辺地域 まちづくり構想



令和4(2022)年
立川市

目 次

1. 西国立駅周辺地域まちづくり構想について	1
2. 西国立駅周辺地域の将来像	2
3. 分野別のまちづくり方針	4
3-1. 土地利用	4
3-2. 道路・交通	6
3-3. 緑・景観	8
4. 今後のまちづくりの進め方	10

1 西国立駅周辺地域まちづくり構想について

●はじめに

立川市は、これまで西国立駅周辺地域（以下、「本地域」という）において、立川市役所本庁舎の移転や立川簡易裁判所など国の機関の移転、国家公務員共済組合連合会立川病院（以下、「立川病院」という）の建替えなど、まちの変化に対応するため「旧庁舎周辺地域ランドデザイン（以下、「ランドデザイン」という）」（平成 22 年 5 月）を策定し、立川駅南口周辺を活性化させる回遊拠点の形成など、まちづくりの基本的な考え方をまとめるとともに、「西国立駅西地区地区計画」（平成 27 年 7 月）の整備方針に沿ってまちづくりを進めてきました。

一方で、本地域では JR 南武線の踏切による交通渋滞の発生や歩行者等の安全確保、駅前におけるバスやタクシーへの乗り換えなど、検討すべき課題が残されています。

これらの状況を踏まえ、「立川市都市計画マスタープラン（以下、「都市マス」という）」（平成 29 年 6 月改定）では、西国立駅を中心としたエリアを生活中心地（※）に位置づけ、「JR 南武線の鉄道立体化の促進を図るとともに、それに合わせた JR 西国立駅駅前の整備とにぎわいの創出を図る」としています。

現在、東京都において JR 南武線の鉄道立体化に向けた検討が進められており、本市では、鉄道立体化の動向をまちづくりの契機と捉え、都市マスで示すまちづくりを推進するため、今後のまちづくりの方向性を示す「西国立駅周辺地域まちづくり構想（以下、「本構想」という）」を策定しました。

●本構想の目的・役割

本構想は、JR 南武線の鉄道立体化を見据えたまちづくりに取り組む際に、地域の方々と行政、関係機関等が「まちの将来像」を共有することを目的とし、協働してまちづくりを進めるための指針となるものです。

なお、本構想は、西国立駅を中心としたエリアにおけるまちづくりの方向性を示すものであり、本構想により新たな権利制限が加わるものではありません。



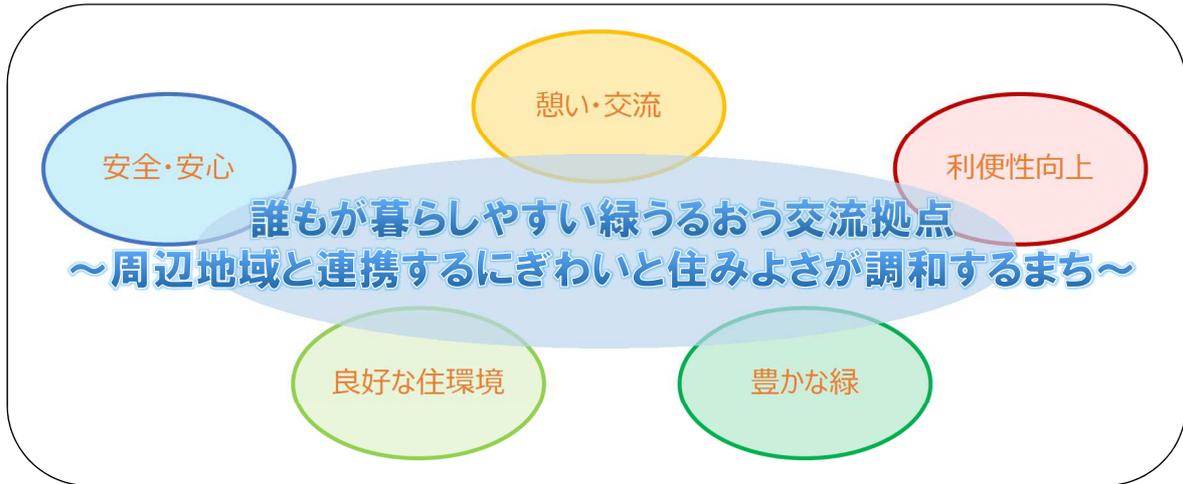
※ 生活中心地

特徴のある商店街やコミュニティインフラ（道路、公園、集会施設、子育て支援施設、高齢者介護施設、教育文化施設等）の整った、身近な地域における人々の活動や交流の中心地。

2 西国立駅周辺地域の将来像

本地域の目指すまちの将来像を次のように定め、都市マスやランドデザイン等に基づくまちづくりの進展を踏まえ、住環境に配慮した利便性の高い安全な駅前ゾーンを中心として、緑豊かな生活、文化・交流、医療福祉等の拠点を形成し、立川駅周辺地域等とも連携するにぎわいと住みよさが調和するまちを目指します。

● まちの将来像



まちの将来像を構成する要素

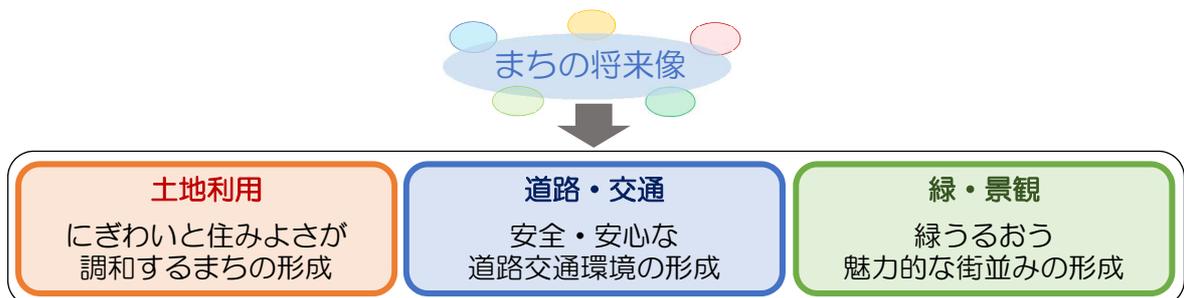
憩い・交流	公共公益ゾーン（地域交流施設・市民交流広場）、駅前ゾーン（駅前広場・生活利便施設）、公園 等
利便性向上	駅前ゾーン（駅前広場・生活利便施設）、鉄道立体化により新たに生み出される空間（生活利便施設）、商店街の活性化、踏切の除却 等
豊かな緑	公共の緑（公共施設・道路・公園）、宅地やお寺等の緑（住民や事業者等の協力） 等
良好な住環境	適正な土地利用、安全・快適な生活道路、良好な街並み景観 等
安全・安心	歩行者の安全性を確保した道路環境、防災対策（道路無電柱化、避難経路及び沿道の防災性の向上）、ユニバーサルデザインによる公共空間の整備 等

● 将来のまちの姿 ～まちづくりのイメージ図～



● 分野別のまちづくり方針

まちの将来像を実現するため、3つの分野ごとに取組みの方針を定めます。



3 分野別のまちづくり方針

3-1 土地利用

土地利用に関する課題

- 駅周辺の未利用地の活用
駅西側の未利用地を活用した魅力的で利便性の高い安全な駅前ゾーンの形成が望まれています。
- 日常生活を支える魅力ある商店街づくり
日常生活を支える上で、地域に密着した商店街の活性化が望まれています。
- 良好な住環境の維持
地域内の多くは閑静な住宅街となっており、より安全で安心して住み続けることができる良好な住環境の維持が望まれています。



駅西側の未利用地



閑静な住宅街

土地利用の方針

方針 にぎわいと住みよさが調和するまちの形成

○生活中心地としての機能集積

- 駅西側の未利用地や鉄道立体化により創出される新たな空間へ生活利便施設等を誘導するとともに、誰もが便利で安心して利用できる駅前ゾーンの形成を目指します。
- 人々の活動や交流の中心地としての機能集積を進めるため、既存の公共公益施設の再編整備を図ります。

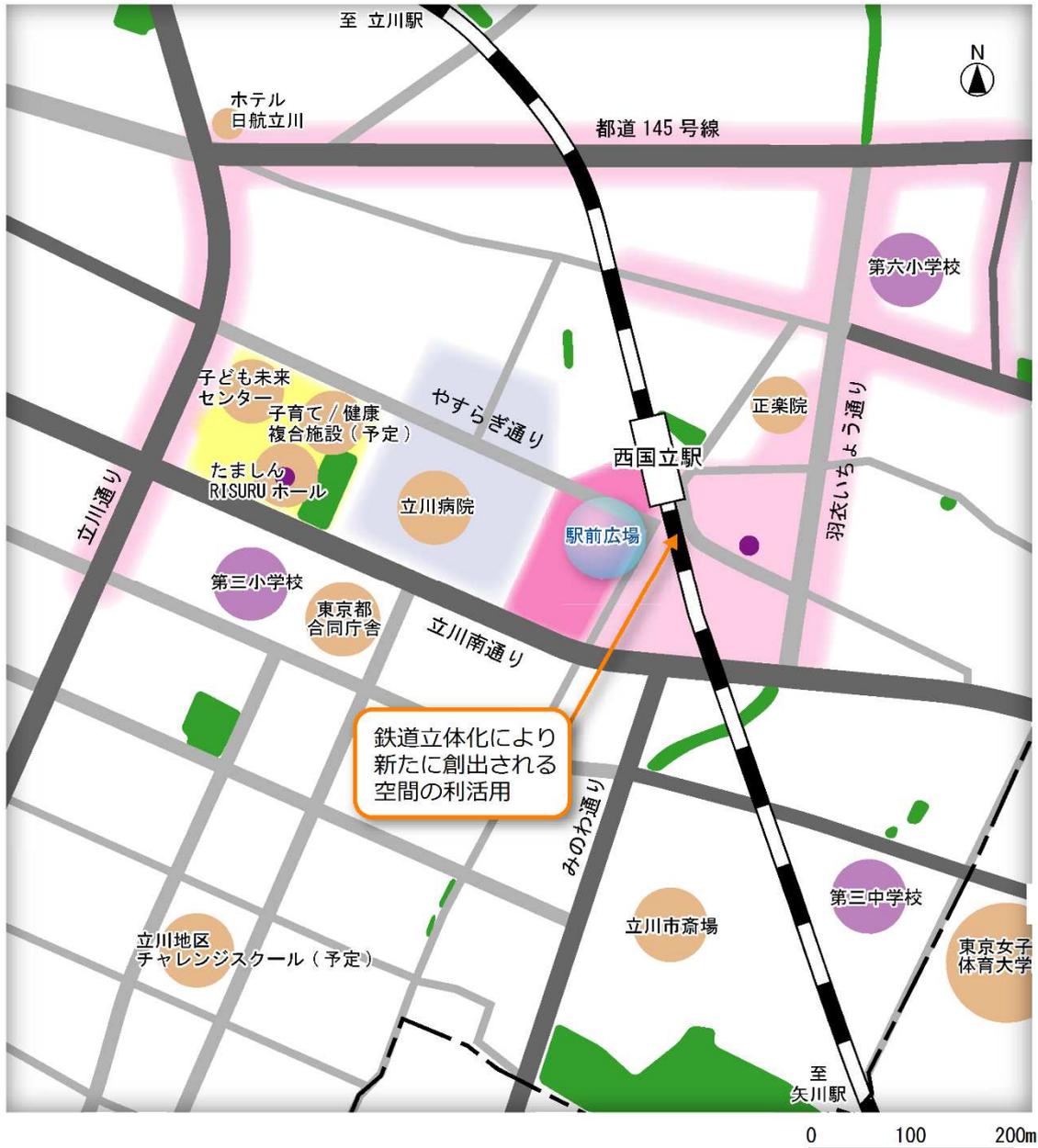
○身近な商業地の活性化

- 駅前からつながる地域に密着した商店街等の活性化を図り、連続した魅力あるにぎわいづくりを目指します。

○良好な住環境の保全と安全安心なまちづくり

- 戸建て住宅や集合住宅と商業施設が調和した街並みの形成を図り、住環境に配慮したにぎわいと住みよさが両立したまちを目指します。
- 道路の整備においては、歩行者の安全性確保や住環境の保全を図ります。
- 緊急輸送道路、避難路及び沿道の防災性向上を目指します。

土地利用イメージ図



	駅前ゾーン	駅前広場と生活利便施設等が立地し、地域の拠点としてふさわしい街並み景観を形成
	商業・暮らしゾーン	身近な商店や飲食店と住宅が調和した街並みを形成し、にぎわいと住みよさが両立
	公共公益ゾーン	文化・芸術、地域交流、健康・子育て機能等を有する公共公益施設が立地
	医療施設ゾーン	地域の医療を支え、災害拠点病院としても機能する立川病院が立地
	緊急輸送道路	地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行う幹線道路等
	一次避難所	災害時、最初に開設する避難所 食料、飲料水、生活用品、救助資器材を備蓄
	二次避難所	災害時、必要に応じて順次開設する避難所 障害者・高齢者等の優先的な受入に対応

3-2 道路・交通

道路・交通に関する課題

○踏切による交通渋滞等の発生

JR 南武線の踏切遮断により、通過電車待ちの渋滞等が発生しており、交通の円滑化が望まれています。



踏切による渋滞

○公共交通機関等への乗り換え

駅前には交通広場がなく、タクシーや送迎車の乗降は道路で行われており、安全性・利便性に欠けていることから、公共交通機関への乗り換え環境の整備が望まれています。



駅前の道路での乗降

○駅周辺の安全な歩行空間等の整備

駅周辺の道路は歩道が狭いもしくは歩道が整備されていない区間が多いことから、安全な歩行空間等の整備が望まれています。

道路・交通の方針

方針 安全・安心な道路交通環境の形成

○連続立体交差化の促進

- JR 南武線の連続立体交差化を促進し、踏切の除却による交通渋滞の解消とともに、鉄道による地域の分断を解消し、安全・安心で一体的なまちづくりを目指します。
- 鉄道立体化に伴う交差道路等の整備により、歩行者等の安全確保を図ります。

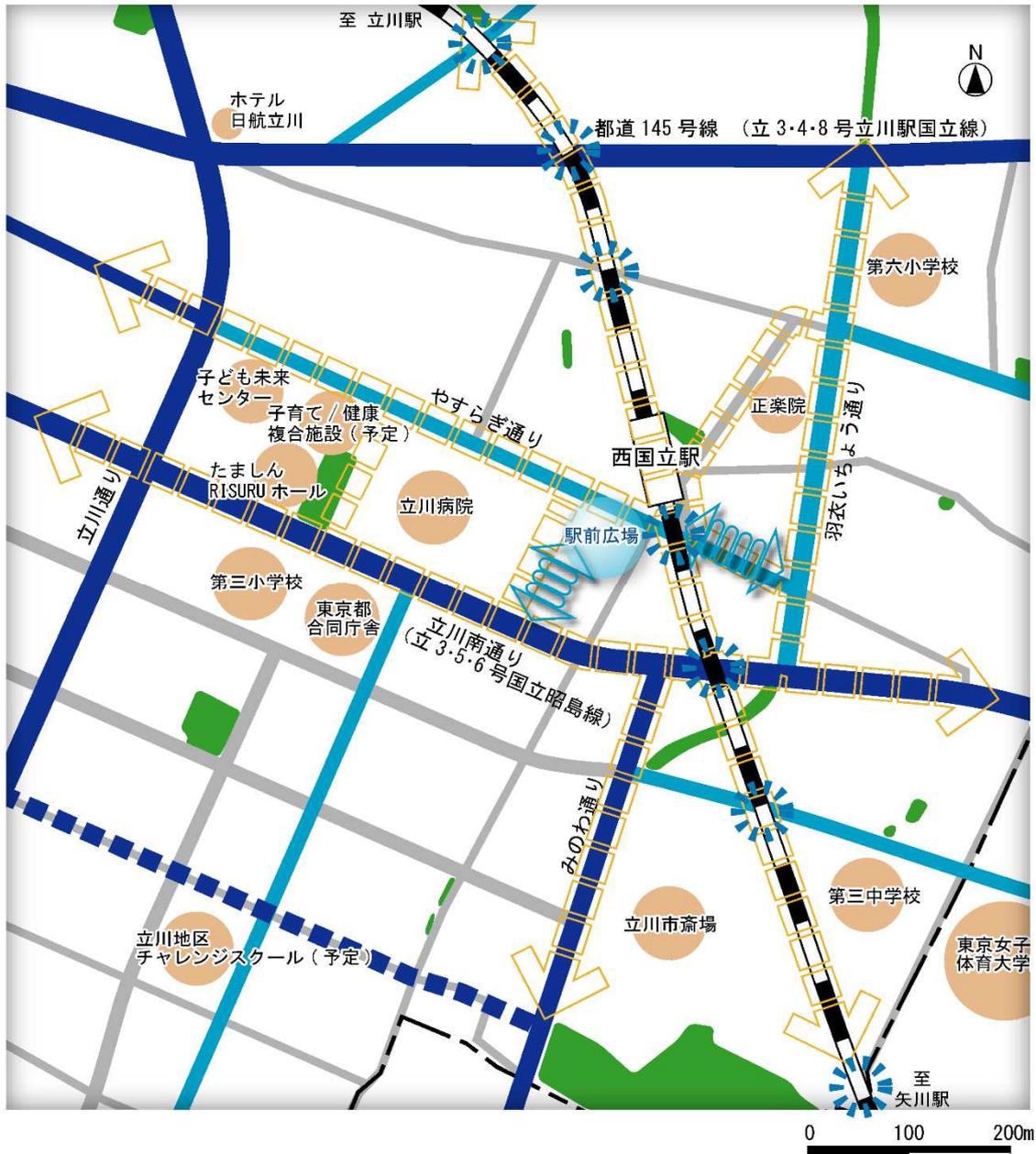
○駅の交通結節機能の強化

- 鉄道とバス、タクシー、送迎車等の乗り換えの利便性向上を図るため、誰もが利用しやすい駅前広場及び駅にアクセスする道路の整備を図ります。
- 地域交通の利便性向上を目指します。

○安全・快適な道路環境整備

- 多くの人や交通が集中する駅周辺及び地区幹線道路・街区幹線道路等においては、ユニバーサルデザインの視点に立ち、誰もが安全・快適に利用できる道路環境の形成を目指します。
- 公共施設や医療機関といった地域内の各施設と西国立駅及び周辺地域を結びつける道路において、鉄道立体化により生まれる空間等も活用しながら、誰もが安全・快適に利用できる歩行者ネットワークの形成を図ります。

道路・交通イメージ図



	地区幹線道路	地区の骨格となる道路
	" (未整備)	
	街区幹線道路	地区幹線道路等で囲まれた街区の骨格となる道路
	区画道路	沿道の土地、建物へのアクセスを主たる機能とする道路
	駅前広場	鉄道とその他交通機関を結節する交通広場
	駅アクセス道路	地区幹線道路及び街区幹線道路から駅への円滑なアクセスと歩行者・自転車の安全性確保を両立する道路
	歩行者ネットワーク	西国立駅と地域内の各施設及び周辺地域を結ぶ連続した歩行空間
	踏切除却	鉄道立体化に伴う踏切の除却箇所

3-3 緑・景観

緑・景観に関する課題

○緑を活かした魅力的なまちづくり

既存の緑の保全や新たな緑の創出とともに、緑の豊かさを感じられる街並みの形成が望まれています。緑を生かした豊かな暮らし、魅力あるまちづくりを実現していくためには、行政による公共空間の緑化だけでなく、住民や事業者の協力により緑を守り、育て、支えていくことが必要です。



公共施設内の緑

○駅周辺の街並み景観の向上

駅周辺には地域の拠点にふさわしい魅力ある街並み景観の形成が望まれています。



民有地内の緑

緑・景観の方針

方針 緑うるおう魅力的な街並みの形成

○緑の景観づくり

- 公園や公共施設等のまとまった緑を街路樹や植樹帯等の緑、民有地内の緑で結ぶ緑のネットワークを形成することで、連続した緑の景観づくりを目指します。
- 緑のネットワーク形成のため、道路の新設や拡幅に合わせた道路空間の緑化、鉄道立体化により生み出される空間の緑化等を目指すとともに、公共施設の再編に合わせた緑化を図ります。

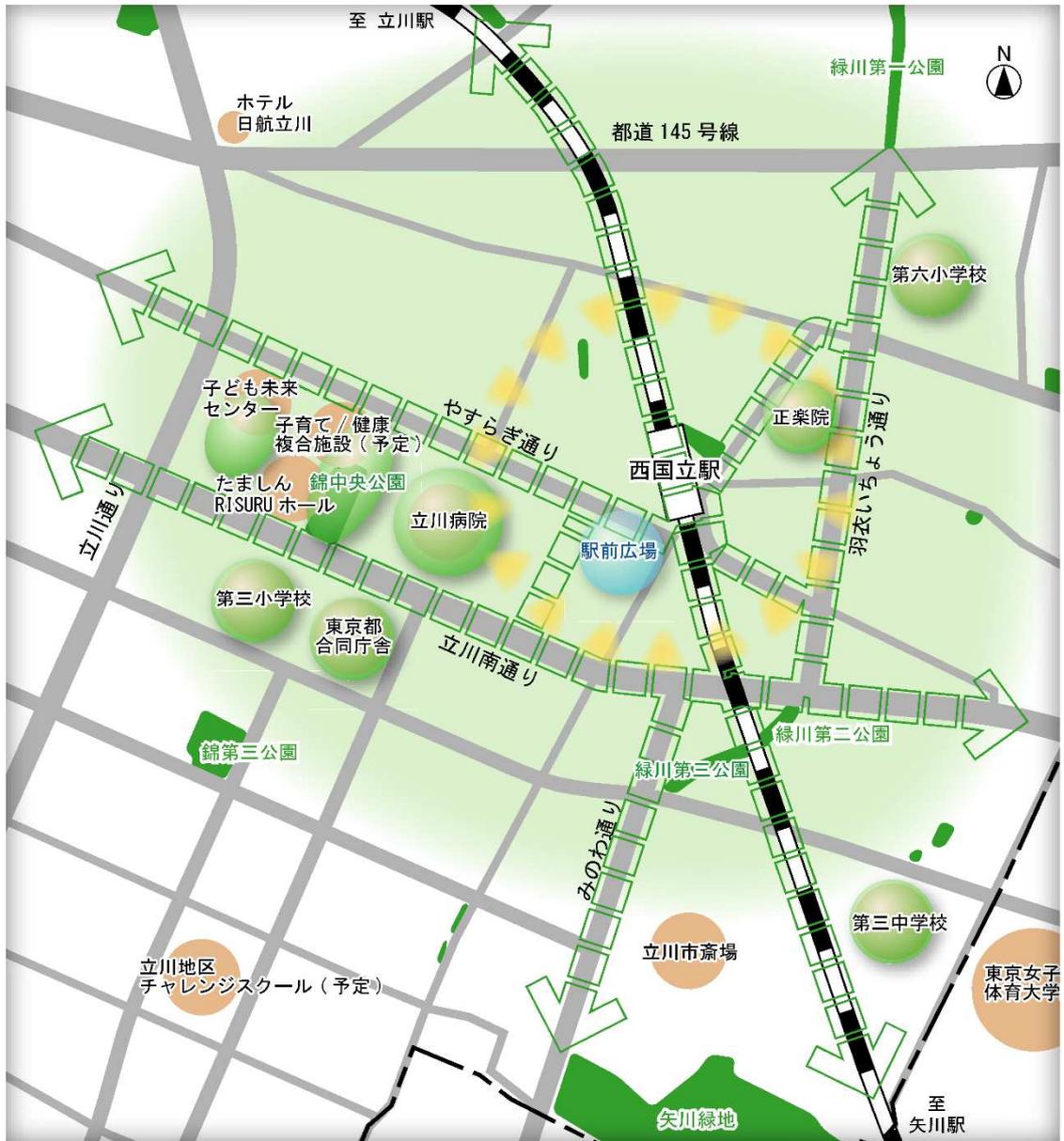
○住民・事業者・市の協働による緑の創出

- 住宅地においては、接道部に重点を置いた緑化を促し、開発地等においても、民間事業者と連携して質の高い緑化を誘導し、緑を創出していくとともに、緑の豊かさを感じられる街並みづくりを目指します。
- 住民・事業者と協力して、民有地内において、緑の豊かさを実感できる多様な緑化を進め、減りつつある緑の総量の維持を目指します。
- 公園の管理や緑化活動への市民参加を促進し、行政と住民の協働による緑の保全・創出を目指します。

○駅周辺の良好な街並み景観の形成

- 駅周辺については、地域の拠点としてふさわしい景観に配慮した街並みを誘導し、地域の特性と調和した街並みの形成を目指します。
- 道路の新設、拡幅時には、無電柱化による道路景観の向上を目指します。

緑・景観イメージ図



	まとまった緑	環境改善にも寄与する緑のまとまり
	緑・景観のネットワーク	街並みにうるおいをもたらす連続した緑・景観
	公園・緑地	人々が憩い、交流する、身近な緑に親しめる場
	民有地の緑の保全・育成	住民・事業者の協力により形成される緑
	駅周辺の街並み形成	地域の拠点としてふさわしい街並みを形成するエリア

4 今後のまちづくりの進め方

まちづくりの体制

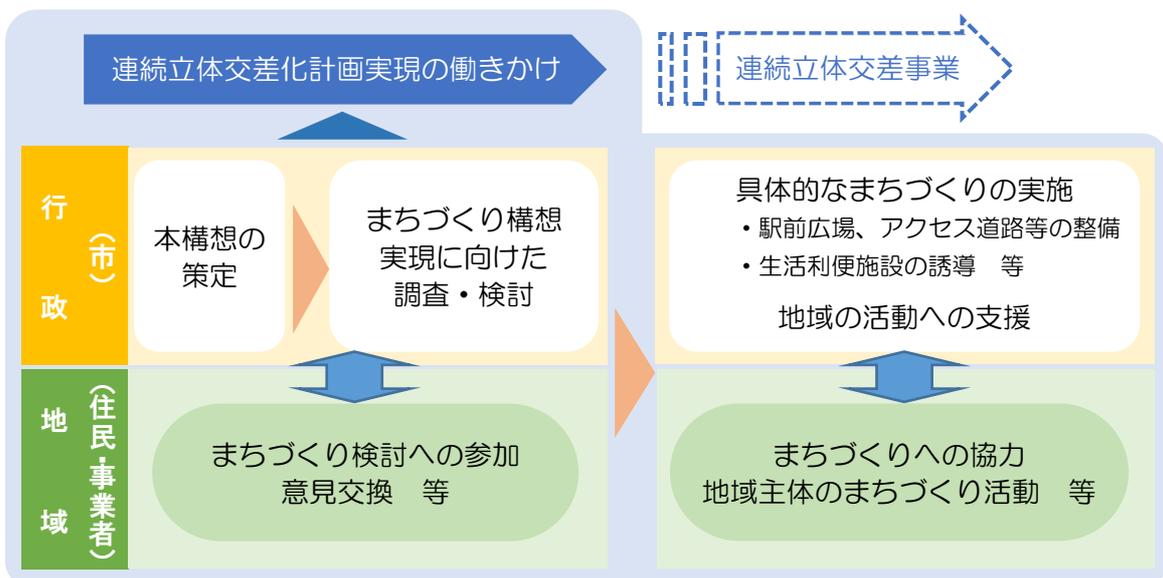
方針 地域（住民・事業者）と行政（市）の協働のまちづくり

本地域では、住民や事業者等と行政（市）が意見を出し合い、共に協力しながら進める『協働のまちづくり』を基本として、まちづくりの実現を目指します。



今後のまちづくりの進め方

JR 南武線の連続立体交差化の早期実現に向け、隣接する国立市とも連携して関係機関に働きかけていきます。同時に、地域との協働を図りながら、本構想に基づいたまちづくりの具体的な取組みを検討し、順次、実現を図ります。



西国立駅周辺地域まちづくり構想

令和4（2022）年3月発行

発行 立川市
〒190-8666
東京都立川市泉町1156番地の9
電話 042-523-2111（代表）
FAX 042-522-9725
ホームページ <http://www.city.tachikawa.lg.jp/>
編集 まちづくり部 まちづくり推進課